

新入局のご挨拶

メルマガをお読みの皆様、初めまして。

今年度より群馬大学放射線治療科に入局しました、森田大貴と申します。

千葉県出身で、渋谷教育学園幕張高等学校を卒業後、群馬大学医学部医学科に入学しました。卒業後は桐生厚生総合病院で初期研修を行い、2024年4月から群馬大学医学部附属病院で勤務しております。



放射線治療を進路に意識し始めたのは中学・高校時代でした。親戚ががんのため夭折したことを知り、がんの現状や治療に関心を持つようになりました。特に「切らずに治す」特徴を持つ放射線治療に斬新さと面白さを感じ、放射線治療に力を入れている群馬大学を大学受験で選びました。その後放射線治療への憧れや興味は消えることなく、今に至ります。群馬大学の放射線治療科に入局した決め手は、豊富な設備と実績に加え、仕事・私生活の両面で先生方が生き生きとしているように見えたことでした。

群馬大学病院では婦人科・脳腫瘍のチームに所属し、主に腔内照射や病棟管理などの臨床業務を担当しております。医員として未だ不慣れな点も多いなか、大野教授やチームリーダーの安藤先生をはじめとした先生方、当科に携わるコメディカルスタッフの皆様、医局秘書の皆様など多くの方々に支えていただいております。皆様のご支援に感謝しながら、知識と技術を1つ1つ習得しているところです。

入局して以降は特に、学会の経験を多く積ませていただいております。すでに6月には、シンガポールで開催された粒子線治療の学会「PTCOG」に参加させていただきました。さらに11月には初めての演題発表を国内でさせていただく予定です。最先端の研究にアクセスする機会はもちろんのこと、自身が業績を作りやすい土壌が整っています。

当科は当直日を除き、土日祝日の休みが確保されていることも長所の1つです。私はゴルフを大学時代から、ボルダリングを初期研修医時代から本格的に始めました。多くの仲間に恵まれ、現在も勤務の合間にリフレッシュとして楽しんでいます。また旅行も趣味の1つで、長めの休みが取れると、電車やドライブで全国の温泉地を巡っています。このように日を過ごすような趣味であっても楽しめる余裕があり、当科の環境を大変ありがたく感じています。

最後までお読みいただきありがとうございました。当科に興味を持ってくださった皆様のご見学をお待ちしています！